

キュレーターからのメッセージ 2012

現代絵画のいま

平成 24 年 10 月 27 日（土）～12 月 24 日（月・振休） 51 日間

開館時間：午前 10 時～午後 6 時（金・土曜日は午後 8 時まで）入場は閉館の 30 分まで

休館日：月曜日 ※ただし、12 月 24 日（月・振休）は開館

会場：兵庫県立美術館 3 階 企画展示室 1・2・3

開催趣旨

映像や立体などさまざまなジャンルが花開く今日の美術にあって、絵画はどのような表現を展開し、どのような方向に進んでいるのでしょうか。中堅から新人まで 14 人の優れた作家を紹介し、こうした点を見詰めようとするのが本展覧会です。

絵画においても、あらゆる素材、あらゆるイメージが表現の可能性をもっています。画家たちは、この両方からその可能性を引き出し、現代という時代の様々な内容（知覚的世界だけでなく、文化的な諸相）を表そうと試みています（一方で、長い歴史を参照する場合があります）。

本展覧会では、このように、支持体そのものの表現の可能性からはじまり、イメージや技法の多彩な絵画はいうまでもなく、さらに、巨大なパノラマ絵画や、壁に直接描くウォールペインティング、絵画がベースになった映像や写真、コンピューターのお絵かきソフトを使って描いた画像まで、絵画を幅広くとらえて展示します。各作家の、新作または近作をとおして、現代絵画の豊かな世界をご覧ください。

主催 兵庫県立美術館・朝日新聞社

後援 兵庫県・兵庫県教育委員会・神戸市・神戸市教育委員会

助成 芸術文化振興基金

協賛 株式会社 資生堂

協力 ホテルオークラ神戸

観覧料 一般 1,200(1,000)円/大学生 900(700)円/高校生・65 歳以上 600(500)円/中学生以下無料

※()内は前売および 20 名以上の団体割引料金（高校生・65 歳以上は前売販売しません。）

※障害のある方とその介護の方 1 名は各当日料金の半額(65 歳以上を除く)。

※コレクション展の観覧には別途観覧料が必要です(本展とあわせて観覧される場合は割引あり)。

※前売券は 10 月 26 日（金）まで販売します。会期中は前売券を販売しません。

※前売券販売場所：チケットぴあ(P コード:765-372)、ローソンチケット(L コード:58170)ほか京阪神の主要プレイガイド

出品点数：絵画数十点、写真数点、ビデオ数点 他

出品作家（14名）

石田尚志（いしだ たかし 1972年東京都生まれ・在住）

白い部屋に描いていく行為の軌跡をコマどりによって映像化した作品を出品。映像が、絵画の世界をあらわにする。

石田尚志《白い部屋》2012 Courtesy of the artist and Taka Ishii Gallery



居城純子（いしろ じゅんこ 1974年静岡県生まれ/奈良県在住）

マスキングを駆使して塗り残しや余白を表現にした絵を出品（近作及び新作）。

居城純子《N34.43.27 E135.39.55》2007 Courtesy of Gallery Hosokawa



大崎のぶゆき（おおさき のぶゆき 1975年大阪府生まれ/愛知県在住）

絵画をベースにした映像作品（新作）を出品。絵画が崩壊する過程をとらえる。

大崎のぶゆき《dimension wall》2010 参考図版（ビデオ・スタイル）



奈良美智（なら よしとも 1959年青森県生まれ/栃木県在住）

独特な少年・少女を描き、評価の高い作家は、本展にドローイング（新作を含む）を出品。

奈良美智《Let's Talk About "Glory"》2012 参考図版
©Yoshitomo Nara, courtesy of Tomio Koyama Gallery



二艘木洋行（にそうぎ ひろゆき 1983年山口県生まれ/神奈川県在住）

コンピューターのお絵描きソフトで描いた作品を出品。シンプルな機能、低解像度だからこそ、生み出されるユニークな作品。インスタレーションも展示。

二艘木洋行《梨》2011 インターネットにお絵かき掲示板



野村和弘（のむら かずひろ 1958年高知市生まれ/神奈川県在住）

見えることの極限を示す絵画を出品。壁画のタイプとタブローのタイプの両方からなる。

野村和弘《壁画形式の作品》2010 いわき市立美術館での制作
Courtesy of Iwaki City Art Museum



彦坂敏昭（ひこさか としあき 1983年愛知県生まれ/京都府在住）

写真をコンピューターの画像処理など、複雑な過程を経て作成された絵画を出品（新作を含む）。

彦坂敏昭《アディダス》2012 制作協力: Tool/参考図版



平町 公（ひらまち いさお 1959年広島県生まれ／神奈川県在住）

何十畳もの大きさの巨大パノラマ絵画を出品。神戸を題材にした新作。

平町 公《神戸 布引の図》2001 参考図版



法貴信也（ほうき のぶや 1966年京都府生まれ・在住）

ドローイングのような線、二重の線など、線を追求した絵画（新作）を出品。

法貴信也《Untitled》2012 参考図版 Courtesy of Taka Ishii Gallery/
Photo: Yasushi Ichikawa



丸山直文（まるやま なおふみ 1964年新潟県生まれ／東京都在住）

画面にアクリル絵の具を染みこませるステイン絵画の新作を出品。染みを形象化させる表現。

丸山直文《Puddle 2》2011 参考図版 ©Naofumi Maruyama, courtesy of ShugoArts



三宅砂織（みやけ さおり 1975年岐阜県生まれ／大阪府在住）

透明シートに描いた絵を写真に転写する、いわゆるフォトグラム（新作）を出品。写真と絵画の境界。

三宅砂織《Living space》2011 参考図版（2枚組の1点） Courtesy of Gallery Nomart



横内賢太郎（よこうち けんたろう 1979年千葉県生まれ／三重県在住）

光沢のあるサテン地に染料などで描いた作品を出品（新作を含む）。技法の混交性は、モチーフである文化の混交した文物によって増幅される。

横内賢太郎《adapting form - hr》2011 参考図版
Courtesy of Kenji Taki Gallery



和田真由子（わだ まゆこ 1985年大阪府生まれ・在住）

透明シートを支持体にして、描いたり、透明メディウムを重ねたりした作品を出品（新作を含む）。三次元空間の構造を二次元に表す試み。

和田真由子《ドローイングの絵》2011 Courtesy of Kodama Gallery



渡辺 聡（わたなべ さとし 1967年兵庫県生まれ・在住）

ドット・シール紙をキャンバスに貼ってから絵を描き、ドットを貼り直した絵と、ドットを剥がしたあとの残る絵を制作。

渡辺 聡《Museo Dali》2008
©Satoshi Watanabe courtesy of TARO NASU



関連事業

(1) アーティスト・トーク

10月27日〔土〕 大崎のぶゆき、野村和弘、平町公、丸山直文

11月25日〔日〕 彦坂敏昭、法貴信也、三宅砂織、横内賢太郎、和田真由子

午後2時から 会場入口に集合 要観覧券

(2) 石田尚志映像上映会

10月27日〔土〕 午後4時30分から

12月1日〔土〕、12月24日〔月・振休〕 午後2時から

ミュージアムホール 要観覧券

(3) 学芸員によるギャラリー・トーク

11月10日〔土〕、12月15日〔土〕 午後4時から約45分

会場入口に集合、要観覧券

(4) こどものイベント「線香で絵を描いてみよう」

講師：居城純子

12月8日〔土〕 午後1時30分～3時30分 小学生3年生～中学生30名

アトリエ2 要事前申込み・先着順・材料費：500円程度

詳しくはこどものイベント係（078-262-0908）

(5) ミュージアム・ボランティアによる解説会

会期中の毎週日曜日 午前11時から約15分 レクチャールーム(定員100名) 聴講無料

お問い合わせ先

兵庫県立美術館 〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目1番1号

ホームページ <http://www.artm.pref.hyogo.jp>

【企画内容に関すること】担当学芸員 出原 均／小林 公

tel: 078-262-0909 (学芸直通) fax: 078-262-0913

【取材・写真提供に関すること】営業・広報グループ

tel: 078-262-0905 (営業・広報直通) fax: 078-262-0903

広報用画像について

このプレスリリースに掲載されている画像データをプレス掲載用にご用意しております。別紙の申込書をご使用ください。

なお、奈良美智氏の画像の提供につきましては、小山登美夫ギャラリーまでお問い合わせください。

連絡先：〒135-0024 東京都江東区 清澄1丁目3-2 7階 tel: 03-3642-4090

営業・広報グループ 宛

FAX (078) 262-0903

ご希望の写真の番号に○をつけてください。後日お送りいたします。また、読者・視聴者プレゼント用招待券(最大10組20名まで)もご用意しております。ご希望の場合は、ご請求ください。

番号	作家名・作品名・制作年・素材・その他(クレジット等)
1	石田尚志 《白い部屋》2012 Courtesy of the artist and Taka Ishii Gallery
2	居城純子 《N34.43.27 E135.39.55》2007 Courtesy of Gallery Hosokawa
3	大崎のぶゆき 《dimension wall》2010 参考図版 (ビデオ・スタイル)
4	二艘木洋行 《梨》2011 インターネットにお絵かき掲示板
5	野村和弘 《壁画形式の作品》2010 いわき市立美術館での制作 Courtesy of Iwaki City Art Museum
6	彦坂敏昭 《アディダス》2012 制作協力: Tool/参考図版
7	平町 公 《神戸 布引の図》2001 参考図版
8	法貴信也 《Untitled》2012 参考図版 Courtesy of Taka Ishii Gallery/Photo: Yasushi Ichikawa
9	丸山直文 《Puddle 2》2011 参考図版 ©Naofumi Maruyama, courtesy of ShugoArts
10	三宅砂織 《Living space》2011 参考図版 (2枚組の1点) Courtesy of Gallery Nomart
11	横内賢太郎 《adapting form - hr》2011 参考図版 Courtesy of Kenji Taki Gallery
12	和田真由子 《ドローイングの絵》2011 Courtesy of Kodama Gallery
13	渡辺 聡 《Museo Dali》2008 ©Satoshi Watanabe courtesy of TARO NASU
※上記図版を媒体掲載されるときには、上記作品名、制作年等を必ず記載してください。	

貴社名			
媒体名	新聞・雑誌・ミニコミ TV・ラジオ・インターネット		
ご担当者名			
ご住所	〒		
電話番号		FAX	
メールアドレス	@		
URL			
掲載・放送予定日			
写真到着日希望			
読者・視聴者プレゼント用招待券 (最大10組20名まで 本展を媒体でご紹介いただける場合に限り)	組	名	希望
メールマガジンをお持ちですか?	はい ・ いいえ		
メールリングリストをお持ちの場合、当館の展覧会・イベント情報等を送信していただく事は可能ですか?	可 ・ 不可		

- ※ 写真データ使用は、本展覧会の紹介用のみとさせていただきます。それ以外での使用はできませんので、ご了承ください。
- ※ 本展に関する記事をご掲載いただきました際には、お手数ですが、掲載誌・紙または記録媒体 (VTR/DVD) などを、下記宛にお送りくださいますようお願い申し上げます。
- ※ 本展覧会会場の取材、撮影をご希望の場合は、上記までご連絡ください。事前にご連絡のない取材・撮影はお断りいたします。